

水稲今後の管理について①

7月の農作業

水稲今後の管理について②

7月の農作業

穂肥の目的

1. 肥料（養分）の不足による「1穂粒数」と「登熟歩合の低下」を防ぐ。
2. 時期と施肥量
 - ・時期が早いと穂粒数は多くなるが、草丈が長くなる。（倒伏・過繁茂）
 - ・量が多すぎると、過繁茂により登熟歩合が低下する。

出穂時期目安(参考) 品種…コシヒカリ

一宮 8月2日
 三方 8月5日
 波賀 8月4日
 千種 8月5日
 (田植日：5月15日基準)



時期と基準施肥量

品種名	肥料名	穂肥第1回目	穂肥第2回目
コシヒカリ	みのり有機	出穂18日前 反当り20kg	出穂10日前 反当り10kg
フクヒカリ キヌヒカリ	みのり有機	出穂20日前 反当り20kg	出穂10日前 反当り10kg

注) 穂肥の時期と量は、穂肥診断を行ってから決定してください。
 また、一発肥料を施用されている方は、生育に応じて穂肥(みのり有機 反当り20kgまで)が必要な場合があります。

穂肥時期の診断方法

1. 平均的な株の親茎を根元からとる。
(草丈の一番長い茎)
2. 圃場の対角線上に5～6株以上とり、平均して判断する。
3. カッターやカミソリで根元から割り、幼穂の長さで穂肥時期を判断する。
 コシヒカリ → 幼穂長5～7ミリで出穂18日前
 その他の品種 → 幼穂長2ミリで出穂20日前



穂肥後の水管理：間断灌水を実施し、水を溜め続けないように注意する。(根腐れ防止のため)

裏面は水稲今後の管理について②を掲載しています。

農作業のページは取りはずして別に保存し活用してください。

No.267 平成25年7月17日発行

防除について

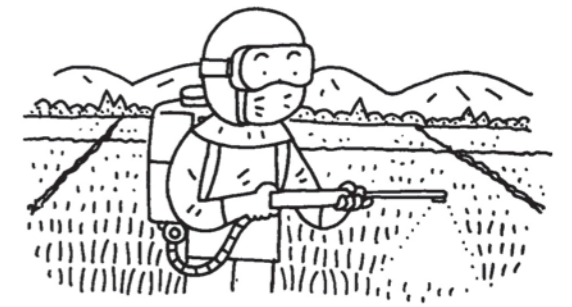
	時期	薬剤名	対象病害虫	使用量	適正使用時期
基幹防除	出穂前	ビームバシボン粉剤DL	いもち病 紋枯れ病 ウンカ類 カメムシ類	反当り3～4kg	収穫14日前まで
		コラトップトレボン粒剤	いもち病 ツマグロヨコバイ ウンカ類	反当り3～4kg	出穂5日前まで
臨機防除	出穂後	スタークル豆つぶ	カメムシ類	反当り250g	収穫7日前まで

刈取りの目安

出穂40日後。(籾の85%程度黄化した頃) 落水時期については刈取りの7日～10日前に行う。
 ※刈取り適期より早いと青米や未熟米が増え、刈り遅れると透明度が低下し茶米や胴割れが発生しやすくなるため、刈り遅れによる品質低下に注意しましょう。

いもち病について

山沿い、川沿いなどの気温が低い所は、いもち病が発生しやすいので注意してください。ひし形の斑点が出ていればいもち病です。



裏面は水稲今後の管理について①を掲載しています。

農作業のページは取りはずして別に保存し活用してください。

No.267 平成25年7月17日発行